

# こんにちは 婦人会です

節分も過ぎ暖かい日が続きました。殺風景な空間に梅の花が咲き、いい香りが漂っていて暦の上ではもう春ですね～なんて思っていましたら11日に雪が降りました。せっかく開いた梅の花に雪の帽子がかぶっていて、寒さに耐えていました。そういえば大島<sup>りょうた</sup>蓼太の俳句に、こんな句があるのですが「寒梅や雪ひるがへる 花のうへ」きっとこんな光景だったのでしょうか…

## ～婦人会・暮らしのエッセンス～

「鬼は外、福は内！！」子供が、小さい頃にあちこちから聞こえていましたが、最近はあまり聞こえなくなりました。そんな、節分って？



今更ながらインターネットで調べてみました。節分とは、季節の始まりの日（立春、立夏、立秋、立冬）の前日のことで「季節を分ける」こと。節分の歴史は古く、平安時代から行われていた宮中の行事の一つで「<sup>ついなしき</sup>追儺式」から生まれたようです。節分の日には、炒った豆を年神に供えたあと、年男が「鬼は外、福は内」と鬼豆を蒔くことで邪気を払い、無病息災を願ったようです。鯛の頭の悪臭とヒイラギの棘で鬼絵男払う風習もあります。「邪気」も悪臭は苦手なようです。また、全国から締め出された鬼を迎えてくれる町もあるようです。奈良県吉野、蔵王堂の節分会は、「福は内、鬼も内」と唱え、全国から追い払われた鬼を救い、仏門に帰依させる行事だそうです。



梅幸の豆まき  
インターネットより引用

桜台婦人会  
平成23年2月25日  
第109号